

太陽より 100 万倍明るい バーバ・ムクターナンダの講話からの抜粋

外側の世界をさまよい続けると、私たちはしまいには疲れてしまうが、ひとたび内側の空間に飛び込むと、熱意の源を発見し、活力を取り戻す。それゆえ私たちが、内なる大いなる自己、真の大いなる自己と呼ぶ、私たちの最も深い内側の実在に向かうことは重要であり、なぜならそれは完全で、自ら進み、自ら光を発しているからである。内なる大いなる自己の存在は、地球の存在と同じくらいに現実である。それと同一の内なる実在は、内なるシャクティまたは神聖なエネルギーとして教典には記述されている。ヨーギたちは、クンダリーニーという言葉好む。このエネルギーは、頭からつま先まで身体に浸透しているが、その中心は背骨の付け根に凝縮した形で蓄積している。シャイヴァイトの格言は、「中枢神経が解き放たれると、至高なる至福に浸されるだろう」と言っている。そしてあなたはいつでも、今この場でも、それに浸されるだろう。もし内側に向かい、内なるシャクティが目覚めた状態で、自分自身の実在を見詰めたなら、あなたは自分が限りなく偉大であることに気づくだろう。

～バーバ・ムクターナンダ

『ダルシャン』マガジン 1990 年、41 号 54 ページ



© 2019 SYDA Foundation®. 著作権所有。